なかさと

毎月一回 15日
定価 1部 5円
発行所
中里村公民館

現在人口

男	4,333
女	4,669
計	9,002
世帯数	1,684

就任のご挨拶

公民館長 齋藤大馨

今回、大島館長様が一身上の御都合で御退任されるに当り、不肖私が、はからずもその後席を命ぜられ、中里村公民館長の重任に就きました。まことに私如き、棟梁の材に外ならない者が、前大島館長様の如き光風霽月のような人格者で、中里村公民館発足当初より幾多の困難を乗り越え、社会教育に御尽砕いただき見事な足跡を残して下さったのに、はたしてその貴い業績を後退させずに、一歩なりとも前進させて行けるかと甚だ心もとない気が致します。然し幸いにして、卓絶俊異なる副館長並びに職員の皆さん方が控えておられる事故、器局小さく才能乏しき身でありますが、ひたすら全力をあげて誤り少なきを期するほかありません。

何卒、村民各位におかれましても、よろしく御支援と御指導を御願い申し上げて、就任のごあいさつと致します。

公民館長になられた斎藤さん

斎藤大馨（だいけい）さんは名刺貝野の慈眼寺第二十六世住職。通称小沢の方丈様。いつもニコニコ愛想よくどんな相談にものり心配してくれる。筋は通すが決して押しつけない。人格識見ともに優れ、人評して「今世良寛」という。昨春まで副館長として大島前館長をたすけ、現在も村保育所長、促護司、民生委員、青少年問題協議会副会長、社会福祉協議会評議員として村の社会福祉行政の推進力として活躍。責任感の強い人だけに健康が心配だが、ってつけの公民館長さん。駒沢大学卒五十才。

退任の言葉

前公民館長 太島孝平

今度、斯く願いが叶て公民館を辞めることになりました。

身才を不顧、長い期間、館長の職に留て公民館の諸事業、社会教育の問題について各位に多大なる御迷惑をおかけしたにもかかわらず、常に温き御同情と御協力をいただきましたことを厚く〳〵御礼申し上げます。殊に村並びに教育委員会の御当局をはじめ教育関係に携さわる諸先生及び職員各位の特段の御指導を賜りましたことは終生忘れ得ざる事件として深く肝に銘じて居る次第であります。

それについても思い出さるることは、戦後民主々義の急速なる展開であった。貧乏村の山村にも封建主義は根強いものがあった。然も上層部の指導は遅々釜釈もなかった。大学の教授と稲する輩にも左傾的民主々義者が多かった。否、殆んどが左翼であった。公民館は比の中にあって民主々義思想を普及、徹底し、在来の美風存置にも心を加えた。要するにそれは村づくり人づくりの課程であった。

雲門禅師が十五日以前は改に問わず、十五日以後、一句を言い将に来れと申された。若しも私達が生まれてから今日までを十五日以前として、一切の順逆をみな水に流し去ったならば、今日以後の行くべき道を私達はどうしたらよいでしょうか。禅師は、「日日これ好日」と教えられた。今日以後、其の日其の日を気持よく暮らすこと。徐ろに踏断す流水の声となる。草ぼうぼうたる谷川辺りもおのづから我か水か、水か我かの境になって愉快に踏断することが出来るのであります。

老人は「老人に希望を与えよ」と云う、でなく「老人は希望を持て」が至当だと思う。人生も為すべきこと多し。終生究めて究め尽されない問題が多々あると思う。私などは、其の日其の日を好日に送るこれだけの問題が一生懸ると思うのであります。

最後に村民各位の健全なる御発展をお祈りして退任の御挨拶と致します。

公民館運営審議委員きまる

村教育委員では、かねて任期満了となっていた公民館運営審議委員、社会教育委員の委嘱をおこなった。委員は社会教育法、中里村条例に定めるところにより公民館運営審委員、社教委員それ〴〵ちがった性格と任務がある。村の社教行政の現状から一人二役としている。今後の公民館活動の推進に活躍が期待される。委員は次のとおり。

佐藤 剛（倉保小学校長）
高橋 信雄（連合青年会長）
高橋 敏子（連合婦人会長）
上村 賢三（村議、連合PTA会長）
広田 要吉（中里農協組合長）
藤田 宇一（村議）

共同募金で連合婦人会が表彰さる

桑原 秀雄（元教育委員）

去る九月八、九日高田市厚生会館で開催された第十二回新潟県社会福祉大会で、中里村連合婦人会（会長高橋敏子さん）が共同募金運動優良団体として県共同募金会長から賜れの表彰をうけた。「社会を明るくするために……」と共同募金運動がはじめられてからすでに十六年目になるが、中里村連合婦人会では毎年、運動に率先協力。街頭募金、興行募金、歳末助け合い運動などに活躍。地域の社会福祉事業の推進に貢献。今回その功績が認められて県表彰となったものである。

以上七名

大島前館長を送る

昭和三十一年三月より六年間公民館長として村の社会教育、公民館活動を推し進めてこられた。大島孝平さんが去る八月十一日付で退任され、後任に前公民館副館長斎藤大馨さんが八月二十三日付で就任した。

前館長大島さんは人も知る人格者。その人柄は、何の技巧も飾り気もなく、つねに謙虚な態度で人に接し、人を導いてこられた。町村合併して、誕生間もない中里村の興論をみとおし、公民館活動を通じて村民に自主協力、合理、創造の態度を啓蒙し村づくり一すじに、誠実な努力をかたむけてこられた功績は大きい。現在は中里村民生常務委員として、地域の社会福祉事業の推進に専念。老いてますます学問を愛し、悟道の境を求めておられる。またまだ壮者をしのぐ元気な大島さん。せっかく御自愛下されて中里村の発展のために御活躍ねがいたい。

高橋山田保護司に感謝状

水年、保護司として保護観察更に指導の活動をつづけている高橋源平（芋川）山田定信（東田尻）の両氏に、新潟県保護観察所長から感謝状が贈られた。

中里俳人伝 花の春雷

上原紫紅

七、八年ほど前のこと、文化祭の行事に一般から俳句を募集した（今でもやっているが）その頃、私が何かの句を出したのが二位だったか三位に入選したことがある。まっ先に来て日本俳句会へ加入を奨めたのが春雷氏であった。

その頃の日俳は、西島さうき（日下典子）女史が主宰で仲々目ざましい活躍ぶりであった。私も俳句は好きだったけれども自信はなかったし発表する気にもなれなかった。そのうちに私の宅で句会をするから部屋を貸さないかと春雷氏が来た。晩秋のある日、七、八名の俳人が集い句会が開かれた。勿論私も何回か呼ばれて仲間に入った。私の句に対する概念とおよそ方向の異る新句調の五七五が発表され批評されるのに驚いてしまう。なんでも良いから出せ出せと奨められて、季重なりの変な句を出すと皆がうまいうまいと賞めてくれる。特に春雷氏が賞めるる「これは素晴しい」「ものになる」と感心した様な顔をするので、当方もいささか得意になって無い頭をしぼって作る。そして皆で投票すると最高点で入る。みんなで芝居をしておだてあげ、入会させようと云うのだが、こちらはわからないから良い気なものである。自信を持ってやたらと十七字をならべる。全く今考えると冷汗が出る。早く上級に進みたい、先輩に追いつきたいと一生懸命であった。

その頃田沢で最高位の日暦集におられた泉芳老が「春雷や桑舟など黒覇集の人たちが日俳の花だナア」と云われたのを聞いて羨ましく思ったものである。そして春雷の句をそれとなく真似て見たりしたものだ。

▽今朝の子供嫣然として筆初め
新年の書き初めの句で俳句手帳にものって居る。一分のすきもない奇麗な春雷の人格を偲ばせる句である。

▽薔薇の如く燃し夢あり妻看護
氷年病床にある妻に良く尽し別に浮いた話題一つない春雷もやっぱり男としての悩みはあるにそういない。私は忙しく悲しい句であると評したい。

▽炉火果てて意志驚き子の恋許す
母の仕事も父の仕事も、尚会社の勤めを持つ春雷に苦労の多かった事は察するに余りあり、数人の子供達も今は立派に成人して活躍しており、孫の二人もあるが、当時は病妻、子供の世話、勤務とよくあれだけやり遂げたものである。東京電力信濃川発電所機械部班長として又、同所教養部長として中里日俳会長として活躍し、御子息は自宅に於て農機具の修理販売等、地位、経済共恵まれているけれども、夫人の約十年近くも病床にある事は気の毒な次第である。満れば欠ける世のならいとか、而し私共の指導者として春雷氏に期待する心は大なるものがある。益々御健斗あらん事を祈る。

（次号は村山貞湖老の予定）

槌の音

歩く前に

「イギリス人は歩きながら考える。」「ドイツ人は考えてから歩き出す。」「スペイン人は走ってしまってから考える。」思考と行動の国際的差違である。

× × ×

ところで日本の分類を云々する馬鹿はないが、中里村で一つはっきりしていることを申し上げる。唯一の国道で「舗装先行工事」と称する市外電話線埋立工事のことである。この限りでは明らかにスペイン式と申さざるを得ない。即ち——舗装してしまってから堀り返す——

× × ×

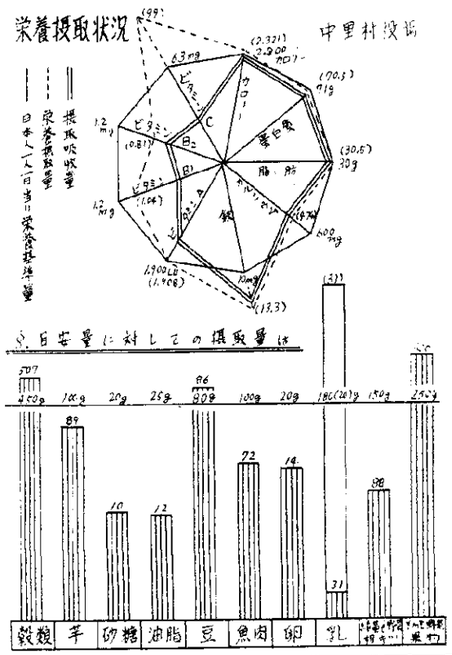
「どうも商人は忙しすぎるようだネェ。一体自分の店の経営分析をする機会があるかネェ」とは少し経済通の某友人の弁、筆者の商業調査を通しての感想ッタリビと店の儲（もうけ）の解らないもの二つ〳〵御礼申し上げます。殊に村並びに教育委員会の御当局をはじめ教育関係に携さわる諸先生及び職員各位の特段の御指導を賜りましたことは終生忘れ得ざる事件として深く肝に銘じて居る次第であります。

それについても思い出さるることは、戦後民主々義の急速なる展開であった。貧乏村の山村にも封建主義は根強いものがあった。然も上層部の指導は遅々釜釈もなかった。大学の教授と稲する輩にも左傾的民主々義者が多かった。否、殆んどが左翼であった。公民館は比の中にあって民主々義思想を普及、徹底し、在来の美風存置にも心を加えた。要するにそれは村づくり人づくりの課程であった。

雲門禅師が十五日以前は改に問わず、十五日以後、一句を言い将に来れと申された。若しも私達が生まれてから今日までを十五日以前として、一切の順逆をみな水に流し去ったならば、今日以後の行くべき道を私達はどうしたらよいでしょうか。禅師は、「日日これ好日」と教えられた。今日以後、其の日其の日を気持よく暮らすこと。徐ろに踏断す流水の声となる。草ぼうぼうたる谷川辺りもおのづから我か水か、水か我かの境になって愉快に踏断することが出来るのであります。

栄養摂取状況

（三面より続く）



るくなるのはあたりまえと考えます。これらは食事と深い関係があるのです。真白にした米を水のすきとおるまでといで炊いた飯——何にもかえられない味ですが、実はこれはビタミンがゼロになった御飯です。強化米、強化麦を利用しましょう。

国は、平均一市町村一億一千万円の事業費を想定し、国費四千五百万円、融資五千六百万円を措置しようという話だそうな。近く有形文化財の指定を受けそうな役場の中でもやれ「小松原に大牧場を……」だの「イヤまだ〳〵米は重要」「国有地に増反を……」とイヤハヤ百家騒鳴。無形文化財になりそうである。パトンはその筋のツチの音を。

（高橋総）

昔から「からすのお灸」といわれている口の側のただれも、ビタミンB2の不足からです。栄養のとり方の少ない地区ではどうしても口角炎の人が多くいます。ビタミンAの不足からくる毛乱性角化症、いわゆる「さめはだ」の人、貧血性の人は多くはいませんが、食事と密接な関係があります。

以上、疾病者の発現状態ですが、国の平均では四人に一人の割合なのですが、村の八月調査では一・八人に一人の割合、十二月には二・九人に一人の割合春にはいくらか少なくなりましたが、まだ〳〵多くの疾病者がでました。なにげなく腹一ぱい食べている三度の食事も、それ体内に入っていろ〳〵な働きをしています。栄養的にすぐれているものでも、それ一つではその力を十分に出せません。いろ〳〵組み合わせて、バランスのとれた食事にするように心がけましょう。（植熊栄養士）

あとがき

▼十月第一土曜日はスポーツの日。田沢中屋体工事で恒例村民運動会はダメだが、年中行事的運動会だけであとは「百姓に体育はいらない」ではとまる。老若男女、一人でも多くの人が自分に適した体育をたのしみたい。

刈取、乾燥のポイント

中部地区農業改良普及所

新稲米をなんとかして日本一うまいお米にしようと云う"うまい米作り県民運動"が、今春以来展開されている。その初年度として、収穫期を迎えた三十七年度米の成果が期待されている。

うまい米作り運動は❶品種統一❷健康な稲作り❸早刈りの励行❹乾燥調整の改善等の四点を運動の骨子としており、日本一うまい良質美味なお米の生産を目的として、県、市町村でそれぞれ"うまい米作り協議会"を結成して、本年度は特に早刈りと乾燥調整の改善を最大目標として運動がなされている。以下刈取りと乾燥について考えてみたい。

一、刈取り適期の判定

刈取りの適期は、成熟期とされる。成熟期は、その年の天候によってもちがい、また品種の早晩によってもちがう。すなわち、早生品種は、晩生品種より登熟が早いし、高温年は低温年よりも登熟が進む。成熟期は普通、極早生は出穂後三十～三十五日、早生は四十日未満、中生は四十日位、晩生は四十五日位である。刈りおくれるよりも、刈りいそぐ方が有利である。刈りおくれは胴割米、茶米穂発芽米を多くし、いちぢるしく品質を悪化させる。立毛の判定としては、大部分の穂の八十%位が熟すれば、穂の基部に二十%位の青粉が残っていても、刈りはじめても支障はない。

二、計画的な刈取り

近年田植え時期が早まり、出穂時もこれに伴って早くなり、登熟日数も短かくなることが多い。特に今年は登熟が早まっているので十分注意して欲しい。刈りとりにあたっては、次の点に注意しつつ、予め品種別の刈りとり計画をたて刈りおくれを防止していただきたい。

①刈りとり適期はあくまでも稲の成熟状態によってきめるべきで、暦日だけで決めると刈りおくれやすい。生育米が混じる程度に、やゝ早刈りすると品質もよく、穂こぼれなどの損失も少く、穂発芽の心配もない。

②一枚の田について適期に刈ることが出来ても、計画が悪いと、経営全面積について適期に刈りとることができなくなることが多い。

③刈りとり適期はいくらかの幅があるので、労力的に一日当りの刈りとり能力を考慮して適期近くにおいて早目に刈り始めることが望ましい。

【野外乾燥の合理化】

通風乾燥機で乾燥すれば、天候との関係が少なく、常によい乾燥をおこなうことができる。籾水分が十七～十八%位のものを乾燥しはじめればよいので、通風乾燥能率を向上できる。

三、棒ハザの利用

棒架で籾水分十八%位まで乾燥して、収納脱穀したら常温通風乾燥機で籾水分十四%を目標に仕上げ乾燥すれば労力が軽減される。かりに二㌶の架をすべて杭架にとりかえたとすると、今まで多段架にくらべて、一㌶に当り二十人の刈りとり労力ですむことになる。刈りとり労賃一日に一人当り七百円と仮定すれば、一㌶二十人の労力は、およそ四千円の労賃に相当することになる。それぞれかりか。この二十人の労力があれば刈りとりは能率化し、早め早めと刈りとって、刈りおくれを防止できるし又、天候に恵まれない本県においては、晴天にかりとり、雨天に脱穀というように仕事ができる。

棒架は、末口の直径三㌢、元口六㌢位の細いものがよい。長さは三㍍のもので、一本の杭架に八十㍍程度かゝる。十アール当り二十～二十五本の棒架を用意すればよい。三回廻して三十アール分の稲をかけることができる。材は杉。皮ははぎ、元口を細く削っておけば、突き刺しやすい。これに与え木として三十九㌢位の板切れを準備する。立て方は一本におよそ三十三平方㍍分がかゝるので、およそ二㍍(六尺)間隔に立てればよい。乾田ならば田の中央部でよいし、湿田なら畦ぎは道側によせて立てる方がよい。

かけ方は稲をかりとったら、棒のそばは稲を集めてくる。稲はできるだけかりたおしたまゝワラを乾かし、かけるときに集めた方がワラの乾きもよい。最初の一対二束のものは二つ折りにして、棒をはさむように与えた木にのせる。あとの稲束は、折る必要はなく、そのまゝ一対づつ棒をはさみ、下の稲と直観に交叉するように重ねて積む。

ワラはなるべく浅くかけ、穂先を外に出すようにした方が、ワラの乾きがよい。このようにして十字にかけ重ね、一番上に、両よけとして、四～六束一くくりにしたものを棒の光につきさす。棒架では籾の乾きは早いが、ワラの乾き悪い。籾が乾燥できる。籾水分が十八%位になるには、九月初めの晴天の日ならば、朝刈りたおしたものは、夕方にもそうなることが多い。

普通には早生で三日位、中晩生七日以内と思えばよい。籾水分十八%程度のものを収納して乾燥できれば、野外において、晴天、雨天のくり返えしによる水分の乾湿、それからくる胴割れもなくなり光沢もよくなる。したがって通風乾燥機の導入により野外乾燥を一層簡略化して乾燥能率を向上できる。

四、仕上げ乾燥

棒架で籾水分一八%程度になったものを、収納脱穀して、通風乾燥機で仕上げ乾燥する。

通風乾燥機の原理は、乾燥した空気を籾層に通過させ、籾の水分を脱取することにある。

通風乾燥機を使用するとき注意すべきことは次のような点である。

(イ)乾燥時間の標準は、籾の水分を一時間に、〇・五%位乾かす程度をメヤスとする。籾水分が一八～一七%のものだと五～八時間位で、一四%に乾燥できる。ただし、送り込む空気の温度は三十度Cを、越えないこと。

(ロ)乾燥箱を通過した空気は二度と、送風機の中へ、吸いこませないこと。これを誤まると籾は乾燥しにくくなる。送風する空気は、できるだけ、屋外の乾いた空気を吸い込ませること。

(ハ)積み込みは平らに

籾を積み込むときは、スノコと並行して積み、乾燥ムラをなくする。積み込む高さは、三十㌢を標準とする。高くなる程ムラが多くなる。

そうすることにより、棒架通風乾燥機のよさが、経営の中に生かされ、刈りおくれ防止と乾燥改善ができる。

郡市青少年リーダー研習会から

青年と学習

「変化する社会をみきわめ、地域や職場における青少年活動をおし進めるに必要な、中核体の資質向上をはかる」という趣旨のもとに、第二回郡市青少年リーダー研修会が去る九月八日九日の二日間、清津峡温泉で開さ催れた。

この研修会は郡市社会教育振興会の主催でおこなわれたもので、郡市内の地域青年団、青年学級、サークル、グループなどから六十名のリーダーが参加して開かれ、第一日目は講演と質疑、清津峡探勝、レクリエーション指導、第二日目は分科会、全体討議、シンポジアム、フォーラムなど日程にしたがってしんけんな研修がおこなわれた。以下研修会の中から講演と分科会の話しあいの様子をまとめてみた。講演は長岡市社会教育委員長谷正樹先生により「青年と学習」というテーマでおこなわれた。要旨は次のとおり。

▼学校教育とのちがい

青年の学習活動は学校教育とその形態がちがう。学校ではあらかじめ用意された指導要領にもとずいて学習がすすめられるが、青年の場合、なにを学習するかはみんなできめていくことになる。だからなんといっても自から学習する意志が大切だとおもう。学校では教える人(教師)と教えられる人(児童生徒)が限定されるが、青年の学習活動ではそういう関係はない。教えられながらも言いたいことが自由に言える。たとえば、講師、助言者に自分の意見を反映させることもできるし、意見のやりとりがあり人間的な要素が入ってくる。学校では一つの課題についての学習時間は限定されているが、多くの課題を学習することができる。青年の場合は一つの課題について長い時間をつかうことができ、目的をしっかりつかんでいける。

学習効果については学校では「できる」「できない」の評価ができるが、それが人間の一生に影響することにもなる。青年の場合、学習の効果をはかることはむづかしいと思う。一つのことがらを学習しながら、同時にそこから別のことを学習することもできる。

▼学習のめあて

学習の目的は、みんなできめるといっても、そこには基準があるとおもう。「オートバイがほしい」「耕うん機を買ってもらいたい」「社交ダンスがしたい」……というような場合、ただそれだけが目的ではなく、それを自分の生活にむすびつけたものにすべきだとおもう。そのためには「みとおし」「根拠」「それ自体」がなにかという考え方が必要だとおもう。

▼ガメツサが大切

生活学習の中身は、広く考えた方がよい。生産や技術につながるもの、経済につながるもの、政治人間関係につながるもの、社会問題につながるもの、レクリエーションにつながるもの等々。つまり、はく働らくことの目的と、それの報酬が切りはなされてしまわないような学習が必要だとおもう。青年の学習はそれ自体を目的とすることはむづかしい。やはり、生活の意欲(キレイごとの意欲ではなく、ガメツサということ)が学習にむすびついてこなければダメだとおもう。

分科会から

第二日目の分科会では、地域青年団の不振や青年学級の現状問題点などがしんけんに討議されたが、地域青年団については「どこの市町村からも「会員が少なくなった」「会議や行事の出席がわるい」などの問題が出され、これについて、地域の青少年はたしかに減ってはいるが、集るところにはかなりの青年が集ってくる。そこに青年集団を組織していくためには、従来の青年集団とちがったものがうまれてきたほうがいい。既成集団を維持していくエネルギーは大きなものがあるが、現状ではそれが小集団活動(サークル、グループなど)にむけられたほうが、停滞している青少年活動をさかんにしていけるのではないかというような意見もだされた。しかしいづれにしても、これからの地域青年団のあり方については、複雑な社会情勢を背景としてかなりの体質改善がなされなければ、やがては青年団無用論が出てきそうだ。

各分科会で、とくにしんけんに討議された問題は、「農家に嫁のきてがない」という問題であった。ここでは、ただバクゼンと農村をきらっているのではなく、いまの農家経営のあり方これからの農業のみとおし、農村社会の人間関係などについてかなりつっこんだ意見がだされ女子青年達は、農家に嫁いでも冬になって夫が出稼ぎに出てしまったあとの家庭生活までも考えていた。まわりの口がうるさく自由な男女の交際も、恋愛もできないという。昔からくらべればかなり機械化もすすみ、生活改善もされ主婦もらくになっただろうが、また〳〵嫁のしごとは忙しく、自由時間が少ないのではないかという。しかし、この問題は地域の青年たちだけの問題ではない。青年たちがこれとどうとりくんでいくか、そこにはじめて生活にむすびついた学習があるようにおもわれたるとかの注意が必要です。生野菜を食べましょう。

「百姓には野菜しかなくて……」といわれますが、グラフにみるように野菜、特に緑黄野菜は不足です。これらはビタミン、カルシウム、鉄分などたくさん含んでいます。色の濃い野菜は「油料理」にして無駄なくビタミンAをとりましょう。乳類は蛋白質、ビタミン、カルシウムなどの質のよい栄養源です。やぎの乳、脂肪粉乳(スキムミルク)をもっと利用しましょう。併せて身体の疾病調査をやりましたが、ビタミン類の不足から

(四面へ続く)

村の栄養調査

ビタミン不足目立つ

中里村今後の栄養改善の指導方針とするため、昨年地区別に荒屋、芋川、本屋敷の三部落を指定し、八月、十二月、三月、五月の四回にわたって、食物摂取の状態と併せて身体の疾病の調査を実施しました。その結果は別紙のとおりと出ました。

実線は基準量、点線は調査結果摂取量、二本の実線は実際体内に吸収されたと思われる量です。鉄分は特に注意しなくても十分とれます。カルシウム、ビタミン類は相当不足状態です。

棒グラフの方は、基準量をとるための大よその目安量に対して、どのよう摂取状態であるかとみたものです。乳類のところは一八〇㌘、二〇㌘と大変差があるのですが、理想としては一八〇㌘(牛乳一本)とりたいところだが、これは無理なのでせめて二〇㌘はどうしてもとりたいという二本線なのです。多くとれているのは、米を主にした穀類、豆類、その他の野菜類であり、多くはとり方が足りません。

栄養状態がよいかわるいかは卵、肉、牛乳、魚などの動物性の蛋白質をどれぐらい食べているかによって決まります。これらのすぐれた蛋白質を努めて食べましょう。ビタミン類は調理による損失が大きいので、調査結果の摂取量より相当少量しか吸収されていないことになります。特にビタミンCは損失が七割にもなりますので、余計な過熱をしすぎないとか、野菜は洗ってから切るとか、油料理にす